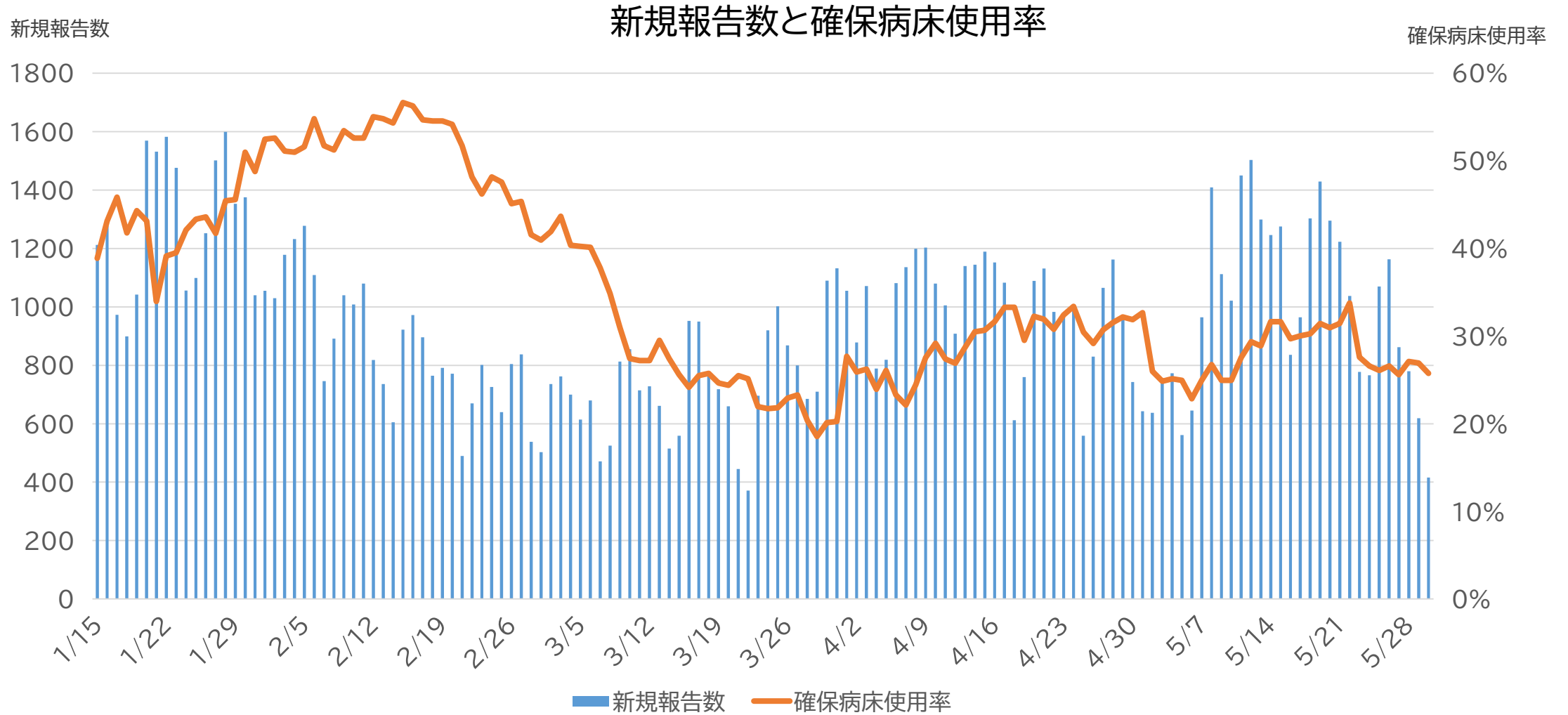


新型コロナウイルスの 感染状況等について

令和4年5月31日

感染状況



直近の感染状況は落ち着つつあり, 病床使用率も横ばい傾向

マスク着用の必要な場面・不要な場面

新型コロナウイルス感染症対策

屋外・屋内でのマスク着用について

○マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

○屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**

○屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



	距離が確保できる	距離が確保できない
【屋外】		
会話を する	マスク 必要なし 	マスク着用 推奨 
会話をほとんど 行わない	マスク 必要なし 	マスク 必要なし 
	公園での散歩やランニング、サイクリングなど	徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面
【屋内】	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	マスク着用 推奨 	マスク着用 推奨 
会話をほとんど 行わない	マスク 必要なし 	マスク着用 推奨 
	図書館での読書、芸術鑑賞	通勤ラッシュ時や人混みの中では マスクを着用 しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに関するQ&A 

厚生労働省 

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、**マスクを着用する必要はありません。**また、就学前のお子さんについては、**マスク着用を一律には求めていません。**



就学児について

（小学校から高校段階）

マスク着用の必要がない場面

- 屋外**
 - 人との距離が確保できる場合
 - 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び
 - ＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）
- 屋内**
 - 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際 ※運動部活動において接巻を行う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう ※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の就学前児について

2歳未満
マスクの着用は**推奨しません。**

2歳以上の就学前の子ども
他者との距離にかかわらず、**マスク着用を一律には求めていません。**マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

気をつけるポイント

- 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
- マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その世帯の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。

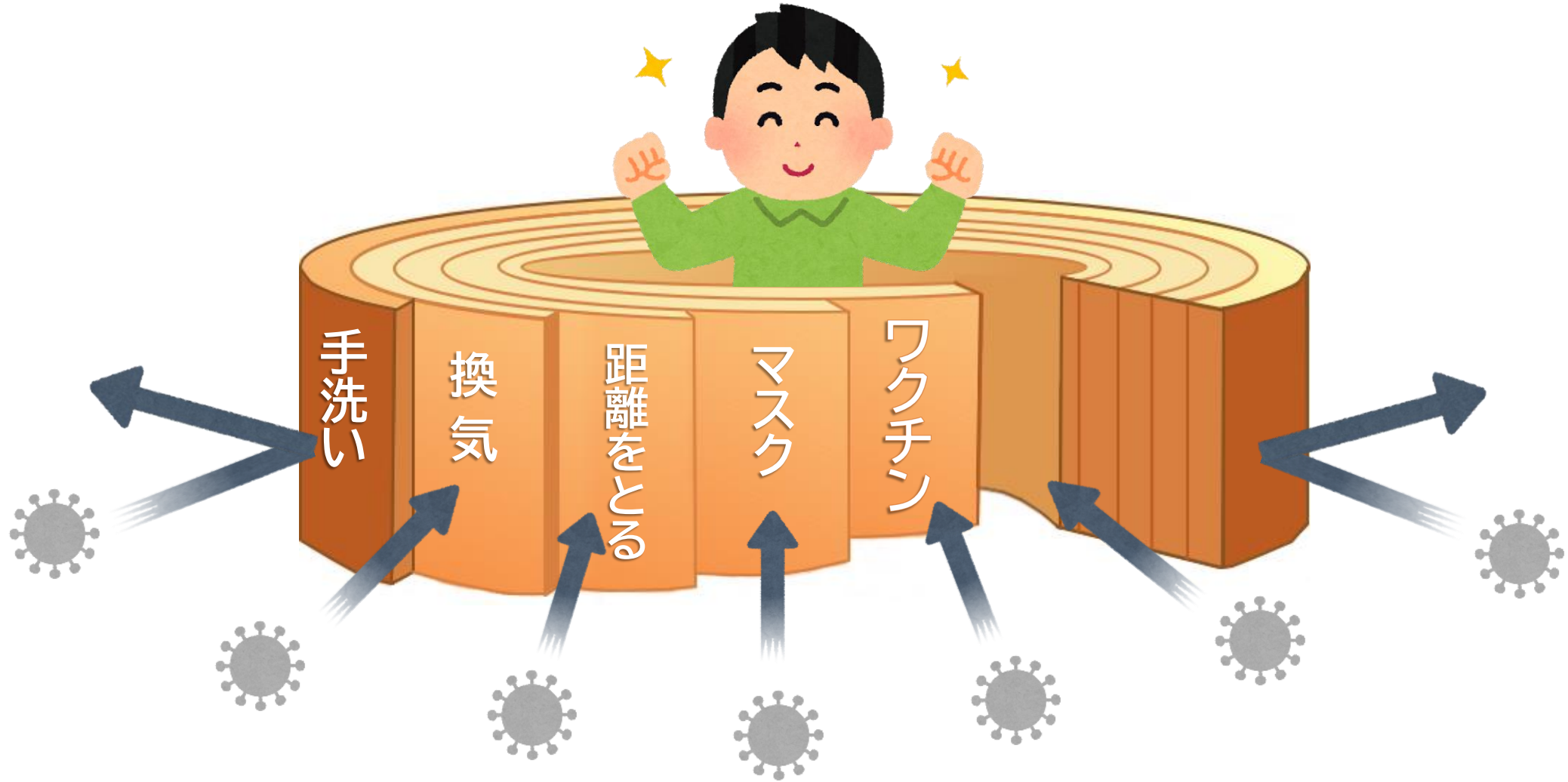
新型コロナウイルス感染症予防のために（厚生労働省） 

厚生労働省 

文部科学省 

熱中症防止の観点から、屋外で人との距離が確保できる場合、マスクを外すことを推奨

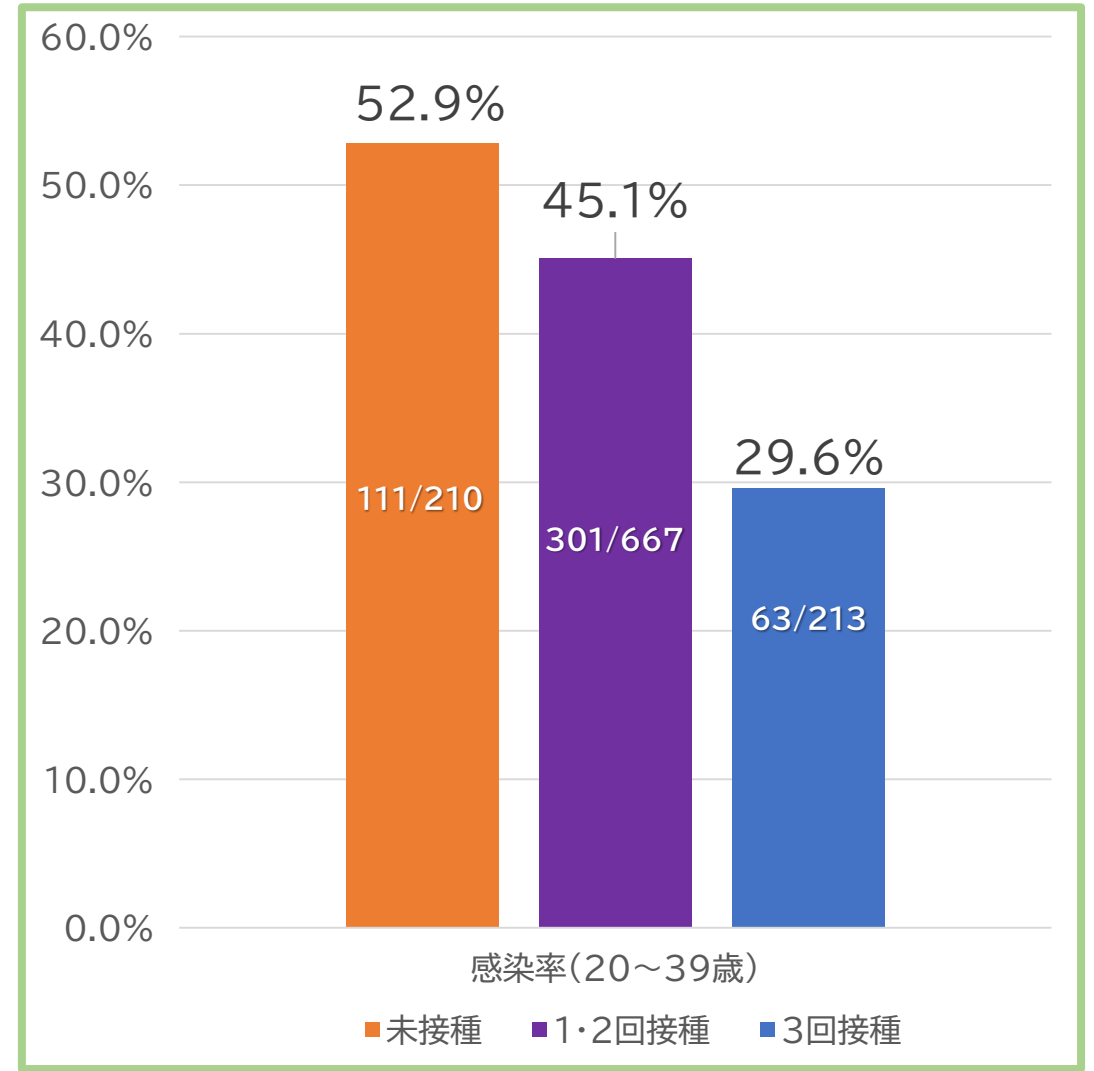
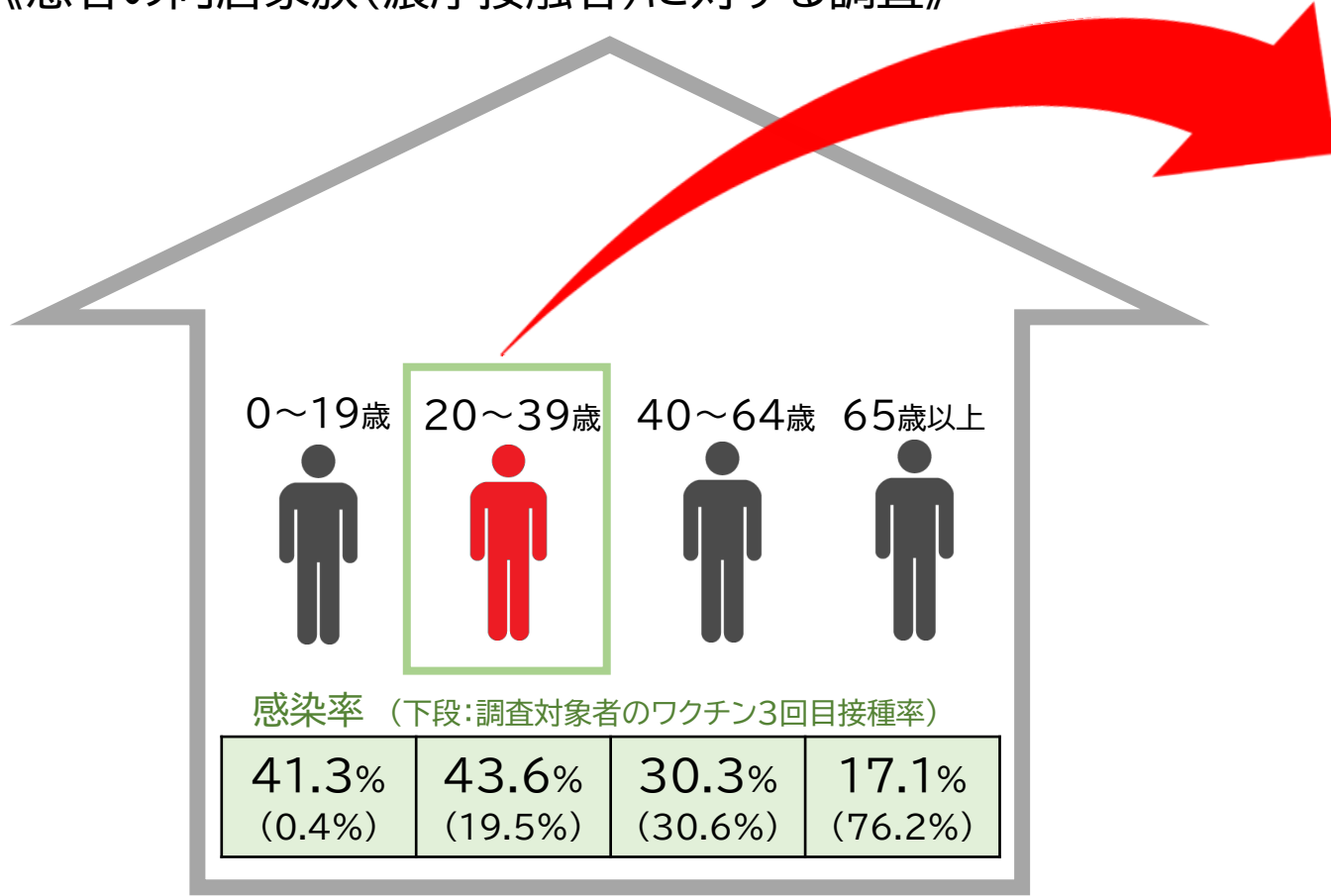
感染の多重予防イメージ



「手洗い」「換気」「距離をとる」「マスクの着用」「ワクチン接種」
基本的な感染対策が重なり合って、より高い効果を発揮

ワクチン接種の感染予防効果

《患者の同居家族(濃厚接触者)に対する調査》



- ※ 対象は、R4.3.8～3.30に陽性が判明した患者(県保健所患者)を含む、すべての者のワクチン接種歴が判明している1737世帯6548人
- ※ 6548人の内訳は、家庭内初発者1737人、同居家族4811人。なお同居家族のうち陽性者1696人(35.3%)
- ※ 初発者(発症日(無症状の場合は判明日)が最も早い者)が2名以上の家庭は除外

若年層においても、追加接種により感染しにくくなる

県民の皆様へのお願い

マスク着用の考え方

夏場の熱中症防止の観点から
屋外で人との距離が確保できる場合、マスクを外すことを推奨します
しかし、マスクが有効な感染防止対策であることに変わりはありません

◆ 感染防止対策の継続を

手洗い，換気，距離の確保，状況に応じたマスク着用等

◆ ワクチン3回目接種の検討を

若年層においても，追加接種により感染予防効果が高まります